

園田 雪恵さん

【はじめに】

MMCさんのページをご覧になる方は、既に2次試験に挑戦する覚悟を決めている方々だと思います。私も資格を志した当初はこんなに苦労するとは思っていませんでした、「もう無理かな・・・」と何度も諦めそうになる一方、「ここまで来たからには途中で抜け出すわけに行かない！埋没コストに捕われてやる！」との思いで、何とか合格に至ることができました。偉そうに書くようで恐縮ですが、同じような思いを抱えて学習されている方々の為に、少しでも参考になればと思い合格体験記として投稿させていただきます。

【受験歴】

年度	受験内容と結果	主な学習方法
H26	1次試験5科目合格	大手予備校通学(平日週2)
H27	1次試験2科目合格 2次試験不合格(AACB)	独学
H28	2次試験合格	MMC通信講座

【MMCを選択した理由】

2次試験は1次試験と異なり、知識だけでは攻略できないのは分かっていましたが、1年目は1次試験合格後の短期間で結局どうやって向き合えばいいのか分からず、雲をつかむような感覚のまま試験に臨み、不合格となりました。

1年間どのように勉強すれば2次試験に合格できるかと考えた時、その「雲をつかむような」状態を脱却するには、自分の答案を容赦なく添削して貰う必要があると考えました。①2次試験専門の予備校、②添削指導が充実している、③高い合格率、の基準で検討した結果、MMCの通信講座を申し込むことに決めました。「合格に必要なポイントは何なのか」をつかむ為には、多くの情報からの取捨選択は自分には混乱に繋がると考えた為、MMCに絞り、それ以外の予備校講座や、参考書は使いませんでした。

通信を選択した理由は、(実は申込時点で既に通学講座が満席という理由もありましたが)1年目に大手予備校に通学した経験も振り返ると、どうも自分は通学スタイルの場合、仕事で疲れた後の講義受講ではそれほど頭が働かない弱点があるような気がしており、自分のペースで時間を取れる通信のほうが合っているのではと考えた為です。結果、これは正解でした。向き不向きは、人それぞれだと思います。

【MMCを活用した学習方法】

① 通信講座

1月から通信講座の受講を始めました、提出が必要な項目をEXCELで表にし、学習計

画と進捗を管理しました。計画は、通学講座のスケジュールと、提出期限を参考にしました。過去問も同様に表にしました。進捗の管理には、答案作成日、提出日、得点に加え、再答案作成日も記載し、再答案はそれぞれ1回は必ず提出するようにしました。勉強方法は、平日は仕事後、会社近くのカフェ等で時間を計って事例を解いていました。

② その他教材

穴埋めの基本問題は通勤時間に繰り返し見直しました。事例Ⅳの問題集は難しく中々捗らなかったのが8月以降に集中してしまいました。昼休みや通勤の合間も利用し1日2~3問を三回くらい繰り返しました。

③ 模試

MMCの模試は全て受験(会場受験)し、アドバイス返却も申込みました。普段通信で先生との交流が無い為、一対一でコメントを頂けるアドバイス返却は貴重なマイルストーンでした。模試に対する解説だけでなく、「そもそもここが苦手なんだけど・・・」等の基本的な困りごとにも真摯に基礎から教えて頂き、毎回価値ある発見がありました。

他の予備校の模試は受験しませんでした。「受験校ごとの採点方式の違いは何なのだろう？」等、合格する為に必要の無いことが気になってしまうリスクを考えた為です。

④ 直前答練

直前答練に関しては、通学で受講しました。1日3事例+解説はハードでしたが、時間内で数多くの事例を解くことで、事例に向き合うペースができました。即日採点、受講生の中での順位発表など通信には無い刺激も受けました。直前答練を一通り終え、最後の模試を受験した頃には、できた・できなかった、含め、自分の感触どおりの点数を取れるようになりました。2次試験の採点基準と、自分の感覚が合ってきたのかもしれない、と感じました。

【本試験～合格の感想】

事例Ⅰは「微妙なところがあったが、まあ60点は取れただろう」、得意な事例Ⅱは「60点以上、結構取れたんじゃないかな?!」という感触で午前中はホッとしましたが、事例Ⅲはポイントが今一つピンと来ず、「???」のまま終わりました。事例Ⅳも設問の意図がつかめないうところがあり、「多分、こういう事で良いと思うんだけど・・・」とあやふやな状態で、帰った後は、不安や後悔で眠れませんでした。事例Ⅲは元々苦手でしたが、これまで、あの手この手で一つ一つ理解する努力をしてきたつもりでしたが、それが全く活かせなかったと感じ、酷く落ち込みました。

「事例Ⅲで足切なのでは」との思い半分、「事例ⅠやⅡで稼いで、なんとかならないかな」との思い半分で、合格までの日々を過ごしました。結果発表の日はWebで確認しましたが、何度も目を疑いました。

【MMCを受講される方へ】

2次試験は、本当に最初は雲をつかむようでしたが、1年間MMCを受講しながら、段々と実態が見えてきました。私はどちらかと言うと元々、文章には無駄に拘ってしまうほうで、自分の文章に赤ペンを入れられるのも自分を否定されたようで無駄に傷つき、苦痛に感じる性質がありました。しかし、2次試験は個性が出るような文章を書くこと自体が無用であり、必要十分なポイントを抑えた、金型に沿った文章が求められていると気づいてからは、素直に添削を活用できるようになりました。

中小企業診断士の受験には様々な情報が溢れていますが、1年間それほどブレず、迷わず学習できたのは、MMCのおかげだと思います。MMCはメソッドがしっかり統一されており、シンプルで身に着けやすいものです。また、教え方の分かりやすい先生方ですが、「個性的な名物講師」を売りにするようなところはありません。「普通の事を、普通に答える」という2次試験に求められる要素に照らし合わせ、無駄なことが何も無いのです。

皆様、自信を持って、学習を頑張ってください。やがて一緒に診断士になりましょう！合格を祈念しております。

【さいごに】

添削、模試返却、答練を通じ、先生方には大変お世話になりました。中小企業診断士としてはこれからが本番ですが、こうしてスタート地点に立てた幸運に、大変感謝しております。ありがとうございました。